

ピコトーニング（リスク・副作用）

ピコ秒ネオジウム：ヤグレーザーを低出力で照射する治療は、表皮のメラニン色素に反応することで、肝斑の改善や色調の改善が期待できます。照射直後に極わずかな赤みがみられますが、表皮メラニンの損傷は軽微のためダウンタイムはほとんどありません。**月に1度**の間隔で治療をおこなっていきます。

治療が受けられない方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- ☐ 光過敏症 ☐ てんかん発作 ☐ ケロイド、瘢痕体質 ☐ 免疫抑制剤使用
- ☐ 傷の治りが悪い方 ☐ 治療部位の癌 ☐ 治療部位の感染 ☐ 全身状態が不良
- ☐ 瘢痕化した刺青や色素性疾患 ☐ 単純ヘルペスⅠ型、Ⅱ型の活動病変

※妊娠中の方は安全性が確立されていません。医師にご相談ください。

治療経過

- 照射直後より赤みや腫れが出現します。この症状は3～4日で消失します。
- 小さい点状出血斑が出た場合は、数日で褐色になり1週間程度で消失します。

麻酔について

- 表面麻酔を使用することがあります。
- 麻酔の効果の程度により、痛みを感じる場合があります。

レーザー治療後の注意点

- お化粧は赤みや腫れが消失してから行ってください。
- 保湿等のスキンケアを行なってください。
- 日常的にSPF30以上のサンスクリーンを使用してください。
- 瘡蓋ができた場合、引っ掻いたり、無理に剥がしたりしないでください。炎症後の色素沈着を起こす場合があります。

その他

- 治療部位にお化粧や日焼け止め、汚れが残っているとレーザー光を過剰に吸収してしまう可能性がありますので照射前はこれらのものはきれいに落としてください。
- 治療中は目を守るメガネまたはゴーグルをおかけします。レーザー照射中は絶対に外さないように、また直接レーザーを見ないようにしてください。